



▲スタートの号砲とともに一斉に走り出すランナーたち



▲ランナーの応援のために演奏をする、南中学校吹奏楽部と鼠地区太鼓保存会の皆さん



▲完走後に煮ぼうとうを味わ ▲コスチュームを披露する新企画ランナーの皆さん

2月23日・仙元山公園ほか 新1万円札の顔、渋沢栄一のふるさとを走る！

深谷の冬の風物詩、『第19回ふかやシティハーフマラソン』が開催されました。渋沢栄一翁が新1万円札の肖像になって初めての大会に4,414人のランナーが参加し、栄一翁のふるさとを駆け抜けました。



3月1日・アリオ深谷 冬が終わっても火の元に気を付けて

春の火災予防運動に合わせ、深谷市消防本部職員と深谷フラワーQueenが、来場者にオリジナルストラップなどを配布し、火災予防を呼びかけました。

▼展示された高級駒の使い心地などを体験する参加者



▲真剣に対局する参加者



▲藤井王将から賞状を受け取り、藤井王将と永瀬九段と記念撮影をする上級者・中級者・初心者各部の優勝者の皆さん

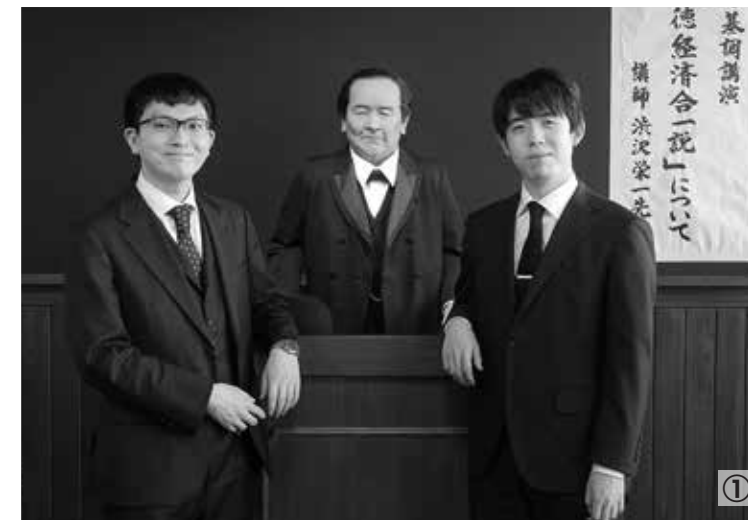
3月1日・八基公民館、3月7日・埼玉グランドホテル 県北のこどもたちが将棋で真剣勝負！

王将戦が深谷で開催されることを記念して、渋沢栄一杯こども将棋大会が開催されました。各部の優勝者には、王将戦の前夜祭で藤井王将から賞状が手渡される特典があり、48人のこどもたちが熱戦を繰り広げました。



3月8日・道の駅おかべ 巨大な深谷ねぎオブジェが新登場

道の駅おかべの物産センターがリニューアルオープンしました。5メートルを超える深谷ねぎのオブジェが設置され、新たな撮影スポットが誕生しました。



①



②



③



⑥



⑤



④

左上から時計回りに（写真①）検分で渋沢栄一アンドロイドを見学する対局者の2人（藤井王将（右）と永瀬九段（左））（写真②）前夜祭で市の特産品を受け取る2人（写真③）2人に歓迎の花束と記念品を贈る八基小学校の児童（写真④）対局が始まり緊張感に包まれる旧渋沢邸『中の家』（写真⑤）軽快なトークで進行される大盤解説会（写真⑥）対局後、大盤解説会場に登場する2人



▲大盤解説会の来場者をおもてなし！（写真左）1日目は、煮ぼうとうを振る舞いました（写真右）2日目は、渋沢栄一翁ジュニアボランティアガイドが、渋沢栄一記念館で解説・案内をしました



▲市内各店のこだわりの品を掲載した『勝負めしメニューブック』

3月7～9日・旧渋沢邸『中の家』、渋沢栄一記念館ほか 将棋のタイトル戦が深谷市で開催！

3月8・9日に、『ALSOK杯第74期王将戦七番勝負第5局』として、旧渋沢邸『中の家』で藤井聡太王将と永瀬拓矢九段の対局が行われ、藤井王将の王将戦4連覇が決定しました。

対局の前日である7日に行われた『検分』では、会場の下見として、関係者が旧渋沢邸『中の家』や渋沢栄一記念館を訪れました。その夜には盛大に前夜祭が行われたほか、対局当日は、大盤解説会が行われ、多くの来場者が対局の行方を見守りました。

また、市と商工団体などによる実行委員会で、棋士の食事『勝負めし』のメニューブックを作成・配布し、対局中の『勝負めし』にも注目が集まりました。